

株主の皆様へ

第51期 報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



立山黒部貴光株式会社

平成27年4月導入の
「E～SORA」立山パノラマバス



代表取締役社長 佐伯 博

皆さまには、日頃より、当社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第51期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平成26年度のわが国経済は、消費税増税の影響による消費の減退が長期化したものの、継続的な経済対策や金融対策を背景に、雇用や所得環境および設備投資に改善がみられる等、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

観光業界におきましては、国内旅行は減少傾向となりましたが、円安進行による割安感や査証緩和等が追い風となり、訪日客数は1,341万人と過去最高を記録いたしました。その一方で、貸切バスや宿泊施設の不足が顕著となる等、受け入れ態勢の整備が課題となりました。

このような中、当期の立山黒部アルペンルートは、前年同様、4月10日に富山側の立山～弥陀ヶ原間の営業を再開し、4月16日には立山～信濃大町間が全線で営業再開となり、11月30日まで営業いたしました。

営業の推移を概観いたしますと、集客力の高い「立山・雪の大谷ウォーク」の開催期間を6月22日まで延長（前年6月10日）したこと等により、6月までは前年を上回る好調なスタートとなりました。しかしながら、7月以降は、度重なる台風の上陸や日本各地を襲った集中豪雨災害の影響により、当日売り個人客の出控えや、団体予約の取消が多く発生したため低調に推移し、各月で前年を下回りました。

これにより、入り込み人員は、合計909千人（対前年95%、49千人減）となり、その結果、当期は61百万円の当期純損失を計上することとなりました。株主の皆様には誠に申し訳ございませんが、配当金につきましては、無配とさせていただきます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年度におきましては、去る3月14日、待望の北陸新幹線延伸が実現し、例年になく北陸へ熱い視線がよせられています。交流人口の拡大が大いに期待されるところであり、地域の多様な魅力を組み合わせた地域全体のブランド構築に向け、富山、長野両県を結ぶ立山黒部アルペンルート果たすべき役割は非常に大きく、周辺各県や観光地との連携を図りながら、相乗的な魅力創出に努めてまいりたいと存じます。

平成27年度の営業概況は、国内外とも個人客の躍進が目立ち、5月末日までの入り込み人員では、前年比105%で、好調であった前年同期をさらに15千人上回る状況で推移しております。この勢いを持続できるよう、引き続き、鋭意誘客促進に努めてまいります。

これからも、企業理念を継承し、事業継続の前提である安全、安心の確保、自然環境の保全にも積極的に取り組みながら、今後の経営環境の変化に柔軟に対応できる安定的な経営に努めてまいりたいと存じますので株主の皆さまにおかれましては、今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



決算概要

【単体】

損益概要

(単位:百万円)

	平成26年度	前期差	平成25年度
営 業 収 益	4,177	△36	4,213
営 業 費	4,089	75	4,014
営 業 損 益	87	△111	198
経 常 損 益	105	△114	219
当 期 純 損 益	△61	△281	220

資産・負債概要

(単位:百万円)

	平成26年度	前期差	平成25年度
資産の部	10,798	53	10,745
流動資産	1,306	299	1,007
固定資産	9,491	△247	9,738
負債の部	4,211	62	4,149
流動負債	1,366	9	1,357
固定負債	2,844	53	2,791
純 資 産 の 部	6,587	△10	6,596

当期の営業収益は、41億77百万円（対前年99%）となりました。一方、営業費は、人件費、物件費の圧縮など経営全般にわたる効率化に努めましたが、修繕費が増加し、40億89百万円（対前年102%）となり、営業利益は、87百万円となりました。これに、営業外収益51百万円、営業外費用33百万円を加減した経常利益は1億5百万円となり、さらに特別利益10百万円、減損損失等の特別損失2億33百万円、法人税ならびに税効果会計による法人税等調整額を加減した結果、61百万円の当期純損失を計上することとなりました。

詳細の情報はホームページにてご確認ください。

立山黒部貫光株式会社ホームページ <https://tkk.alpen-route.co.jp>

【連結】連結子会社：立山貫光ターミナル㈱、立山黒部サービス㈱

損益概要

(単位:百万円)

	平成26年度	前期差	平成25年度
営 業 収 益	6,574	△147	6,720
営 業 費	6,522	31	6,491
営 業 損 益	51	△178	229
経 常 損 益	75	△184	259
当 期 純 損 益	△70	△268	197

資産・負債概要

(単位:百万円)

	平成26年度	前期差	平成25年度
資産の部	11,990	249	11,741
流動資産	2,115	470	1,646
固定資産	9,874	△221	10,095
負債の部	5,125	176	4,950
流動負債	1,606	67	1,539
固定負債	3,519	109	3,410
純 資 産 の 部	6,864	73	6,791

連結子会社の損益概要

(単位:百万円)

	立山貫光ターミナル㈱	立山黒部サービス㈱
営 業 収 益	2,622	268
営 業 費	2,688	255
営 業 損 益	△66	12
経 常 損 益	△56	13
当 期 純 損 益	△35	8



※立山貫光ターミナル㈱は、ホテル立山、弥陀ヶ原ホテル、宇奈月国際ホテルを経営しております。

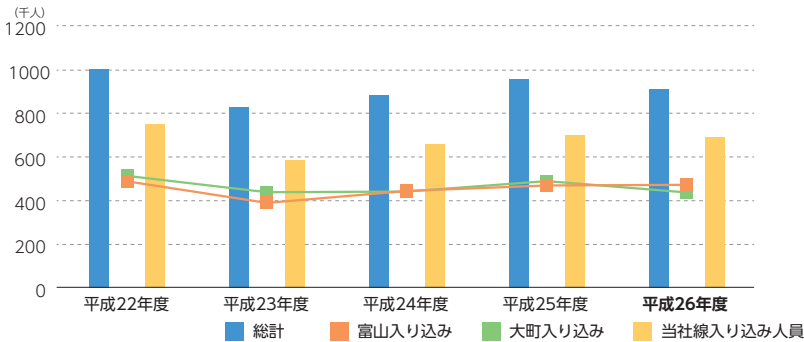
※立山黒部サービス㈱は本体事業を補完し、食品加工、手荷物回送等の事業を行っております。

営業概況

平成26年度の入り込み人員は、90万9千人（対前年95%、49千人減）で、内訳では、富山入り込みは前年を上回りましたが、大町入り込みは黒部ダム往復客の落ち込みが大きく、前年比89%となりました。

主な営業成績は、下記のとおりとなりました。

■入り込み人員

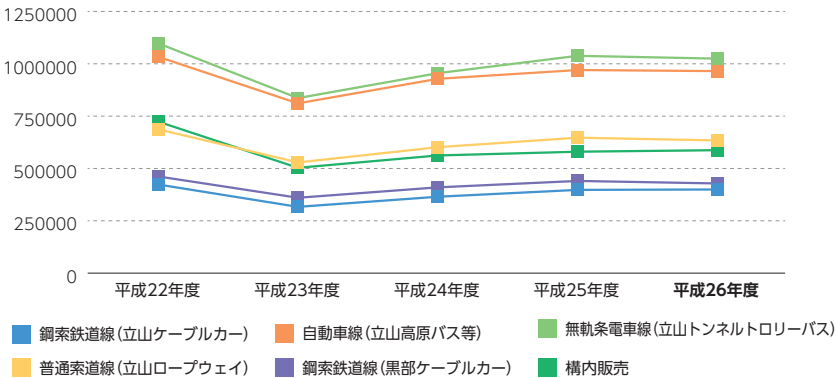


(単位：千人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
富山入り込み	487	389	444	469	472
大町入り込み	514	438	441	489	437
総 計	1,001	827	885	958	909
当社線入り込み人員	749	586	661	701	693

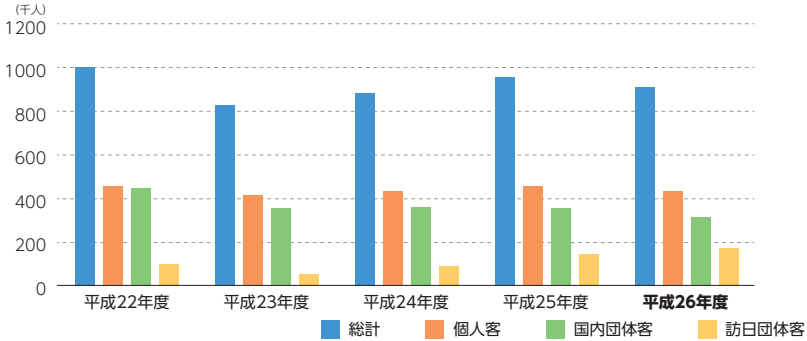
■事業別営業成績

(単位：千円)



訪日客の躍進が持続しており、主要国の台湾が126千人に達する等、平成26年度訪日団体客合計では、過去最高の17万人となりました。

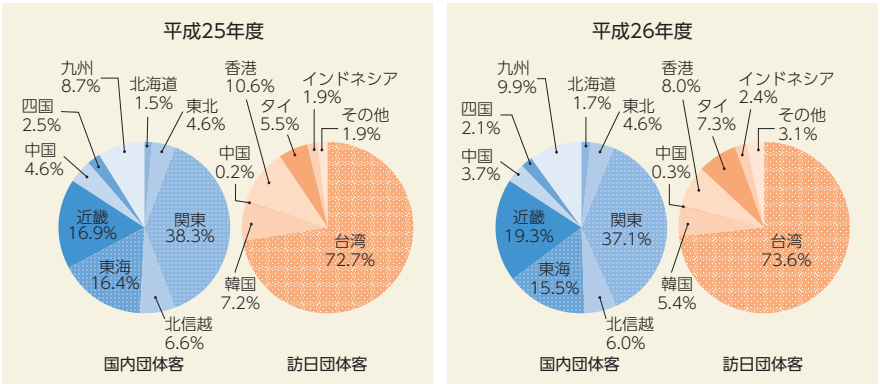
■客種別入り込み人員



(単位：千人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総計	1,001	827	885	958	909
個人客	456	415	436	456	423
国内団体客	448	358	360	357	315
訪日団体客	97	54	89	145	171

■地区別利用者シェア ※室堂～黒部湖間利用人員より算出



お客様満足度向上への取り組み

■ 快適性の向上

立山高原バスの天井部分をガラス張りに改造した『E~SORA 「立山パノラマバス」』の運行を開始いたしました。車内から「雪の大谷」をご体感いただいたお客様からは、すでにご好評をいただいておりますが、今後も輝く青空、紅葉と立山の素晴らしい大自然のパノラマを感じていただけるものと期待しております。皆様もぜひご体感ください。特別車両料金は乗車1回につき500円（大人、子供共通）で別途乗車券が必要です。お申し込みはWEB専用予約にて承っております。



E~SORA
「立山パノラマバス」
外観



内装

■ 安全性の向上

山岳観光地のため、建物内に階段が多い事が、お客様のご負担になっておりました。これを少しでも軽減し、また安全にご利用いただけるよう、室堂ターミナル階段部分の手すり、屋上から園地への階段横にスロープを設置いたしました。また、お客様から要望の多かったエレベーターにつきましても、既存の荷物専用機（2基）を改修して旅客利用可能にいたしました。



室堂
ターミナル屋上～
室堂園地



室堂駅
コンコース～
屋上への階段

その他、利便性向上のため、立山駅・大観峰駅トイレを改修し、個数を増やすとともに温水洗浄便座に変更いたしました。

今後も、お客様が快適に立山黒部アルペンルートをお楽しみいただけるよう改善に努めてまいります。

会社概要

(平成27年3月末現在)

- 所在地 〒930-8558 富山県富山市桜町1丁目1番36号
- 電話 (076) 441-3331
- 設立日 昭和39年12月25日
- 事業目的 自動車運送事業、鉄道・軌道及び索道事業
売店・食堂その他飲食物販売業、旅行業法に基づく旅行業
- 資本金 41億6千万円
- 発行済株式総数 8,973,079株（自己株式318,589株を除く）
- 株主数 1,444名
- 役員（平成27年6月26日現在）

代表取締役社長	佐伯 博
専務取締役	佐川 栄
常務取締役	永崎 泰雄（営業推進部長）
常務取締役	新森 雅夫（総務部長）
社外取締役	石井 隆一
社外取締役	永原 功
社外取締役	庵 栄伸
社外取締役	勝田 達規
社外取締役	桑名 博勝
社外取締役	森 雅志
社外取締役	牛越 徹
社外取締役	美尾 邦博
取締役	中川 修（経理部長）
取締役	見角 要（運輸事業部長）
取締役	石野 一美
取締役	高江 均（技術環境部長）
常勤監査役	高平 亮
社外監査役	舟橋 貴之
社外監査役	中田 邦彦

株主関連

● 事業年度 4月1日～翌年3月31日

● 定時株主総会 6月

● 基準日

株主優待券 2月末日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

● 公告掲載新聞 北日本新聞

● 単元株式数 100株

● 株主名簿管理人

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社

● 同取次場所

日本証券代行株式会社 支店

三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

● お問合せ・送付先

〒168-8620

東京都杉並区和泉2-8-4

日本証券代行株式会社 代理人部

0120-707-843（フリーダイヤル）

単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社では、単元未満株式（100株未満）をご所有の株主の皆様のご便宜を図るため、単元未満株式の買取および買増制度を行っております。

<単元未満株式の買取り>

株主様がご持ちになっている単元未満株式を、当社が買い取らせていただきます。

<単元未満株式の買増し>

株主様がご持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（100株）となる株式を当社が株主様に売却いたします。

お手続きの詳細につきましては、上記**日本証券代行(株) 代理人部**までお問い合わせください。

株主優待制度

ご所有株式数	優待乗車券・乗車証			ホテル 宿泊 割引券
	種 類	通用区間	発行枚数	
100株～150株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～室 堂	2枚	2枚
150株～300株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～室 堂	3枚	2枚
300株～400株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～室 堂 立 山～黒部湖	1枚 2枚	2枚
400株～600株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～黒部湖	4枚	2枚
600株～800株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～黒部湖	6枚	2枚
800株～1,000株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～黒部湖	8枚	2枚
1,000株～2,000株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～黒部湖	10枚	4枚
2,000株～3,000株未満	優待乗車券 (片 道)	立 山～黒部湖	20枚	4枚
3,000株以上	優待乗車券 (片 道) 優待乗車証 (記名式)	立 山～黒部湖	30枚 1枚	4枚

- 優待有効期間：各年度 営業期間中
- 各券のご利用方法につきましては、各券面記載事項をご覧ください。

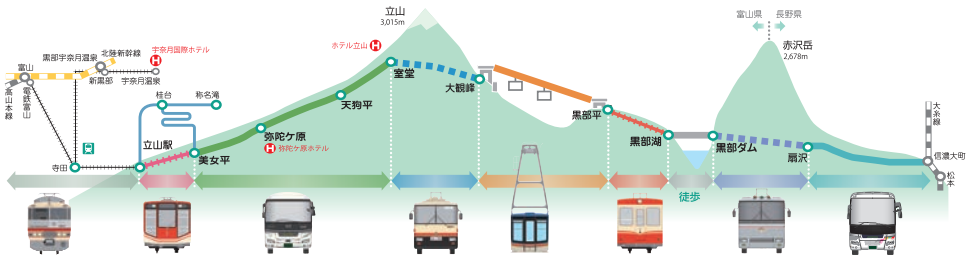
～旧「立山開発鉄道株式会社」株券をお持ちの株主様～

当社では、合併により消滅した立山開発鉄道株式会社の株券と、当社株券との引換えを行っております。まだ引換えのお済みでない株主様は、新株券との引換えをお願い申し上げます。

なお、引換えのお手続きにつきましては、左記日本証券代行㈱ 代理人部までお問い合わせください。



立山黒部アルペンルートのご案内



乗物	電車	立山 ケーブルカー	立山高原 バス	立山トンネル トロッポバス	立山 ロープウェイ	黒部 ケーブルカー	(徒歩)	関電トンネル トロッポバス	路線バス
キロ (時間)	31.3km (65分)	1.3km (7分)	23km (50分)	3.7km (10分)	1.7km (7分)	0.8km (5分)	0.8km	6.1km (16分)	18km (40分)
運賃	片道	1,200円	720円	1,710円	2,160円	1,300円	860円	1,540円	1,360円
	往復	2,400円	1,290円	3,020円	3,240円	1,940円	1,300円	2,570円	2,500円

営業推進部

〒930-0849 富山県富山市稲荷園町2-34

営業予約センター・海外営業センター・宣伝センター

☎(076) 432-2819 FAX (076) 442-3431

東日本営業所

〒102-0081 東京都千代田区四番町4-9 東越伯鷹ビル1階

☎(03) 3262-7028 FAX (03) 3265-5285

東海営業所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル10階

☎(052) 241-2268 FAX (052) 241-2275

西日本営業所

〒550-0004 大阪府大阪市西区堀本町1-9-15 近畿富山会館4階

☎(06) 6445-0359 FAX (06) 6445-0398

大町営業所

〒398-0002 長野県大町市五日町3226-2

☎(0261) 22-0198 FAX (0261) 23-2967

グループのホテル

ホテル立山

〒930-1414 富山県中新川郡立山町芦峰寺室堂

☎(076) 463-3345 FAX (076) 463-3348

弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412 富山県中新川郡立山町芦峰寺弥陀ヶ原

☎(076) 442-2222 FAX (076) 442-2242

宇奈月国際ホテル

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉7-26

☎(0765) 62-1236 FAX (0765) 62-1808

● 立山黒部アルペンルートオフィシャルサイト

<http://www.alpen-route.com>

(編集・発行) 立山黒部貫光株式会社

〒930-8558 富山県富山市桜町1-1-36

☎(076) 441-3331 (代表) FAX (076) 443-1185

(自然環境保護のため、環境にやさしい「水なし印刷」
「植物性大豆インキ」を使用しております。)

